

ETAS MDA V8

測定データアナライザ



インストールガイド

著作権について

本書のデータをETAS GmbHからの通知なしに変更しないでください。ETAS GmbHは、本書に関してこれ以外の一切の責任を負いかねます。本書に記載されているソフトウェアは、お客様が一般ライセンス契約あるいは単一ライセンスをお持ちの場合に限り使用できます。ご利用および複写はその契約で明記されている場合に限り、認められます。

本書のいかなる部分も、ETAS GmbHからの書面による許可を得ずに、複写、転載、伝送、検索システムに格納、あるいは他言語に翻訳することは禁じられています。

© **Copyright 2024** ETAS GmbH, Stuttgart

本書で使用する製品名および名称は、各社の（登録）商標あるいはブランドです。

MDA V8 | インストールガイド R01 JP | 03.2024

目次

1	ご使用の前に	4
1.1	対象ユーザー	4
1.2	システム要件	4
1.3	ユーザー特権	4
1.4	インストール	4
1.5	インストール（ネットワーク経由）のカスタマイズ	5
1.6	サポート情報をカスタマイズする	6
1.7	ライセンス管理	6
1.8	個人情報保護に関する注意事項	7
2	お問い合わせ先	9

1 ご使用の前に

本項には、V8.7についての重要な情報がまとめられています。V8.7のご使用を始める前に必ずお読みいただき、内容をご確認ください。

1.1 対象ユーザー

本マニュアルは、主に自動車用制御ユニットの開発と調整の分野において、測定データの評価を行おうとするユーザーを対象としています。MDAを操作するには、PCの操作手順に関する一般的な知識があれば十分です。データを正しく解読するには、記録されたシグナルとその意味を理解していることが必要です。

1.2 システム要件

MDAをインストールして操作するためのシステム要件についての最新情報はリリースノートに記載されています。リリースノートは、サービスパックの所定のフォルダ（Installation File\Documentation\ReleaseNotes）に保存されていて、MDAをインストールすると、%ProgramFiles%\ETAS\MDA8.7\Documentation\Readmeにコピーされます。

1.3 ユーザー特権

管理者特権

プログラムをインストールするには、Windowsの管理者特権が必要です。

ユーザー特権

プログラムを実行するには、以下の場所への読み取り／書き込みアクセス権が必要です。

- － レジストリの以下のフォルダとその全サブフォルダ
HKEY_LOCAL_MACHINE\Software\WOW6432Node\ETAS
- － プログラムが使用する TEMP ディレクトリ（インストール時に指定可能）
- － プログラムのインストール先のディレクトリ
- － プログラムのデータディレクトリ（例：%ProgramData%\ETAS\MDA）とその全サブディレクトリ



注記

リモートアクセスを行う場合も、同じユーザー特権が必要です。

1.4 インストール

MDAソフトウェアをインストールする

1. PC上で実行されているETASのプログラムをすべて終了します。
2. 社内規定に応じて、インストーラファイルはDVDまたはネットワークドライブで提供されません。

DVDを使用すると、インストーラルーチンが自動的に起動します。起動しない場合は、DVD内のAutostart.exeファイルを手動で実行してください。

ネットワークドライブからインストールする場合は、setup.exeファイルを実行します。

3. インストールウィザードの指示に従ってインストールを行います。

MDAソフトウェアをINCAサービスパックインストーラでインストールする

サービスパックインストーラは、異なるプログラムやアドオンのインストールを1つのユーザーダイアログウィンドウで実行するものです。

サービスパックインストーラでインストールを行うと、インストールされるすべてのコンポーネントのソフトウェアバージョンを一致させることができます。

サービスパックインストーラの操作方法など詳しい情報は、INCAインストールガイドに記載されています。

1.5 インストール（ネットワーク経由）のカスタマイズ

DVDに取められたインストーラファイルをネットワークドライブにコピーし、ネットワーク経由で各ユーザーのPCのインストールすることができます。ネットワークインストールの利点は、インストールを行う前にあらかじめインストール内容を調整しておくことができる点にあります。これにより、社内共通のデフォルト設定によるインストールを行うことができます。

V8.7インストーラのデフォルト挙動を設定するには

プログラムのインストール時に使用される各種設定は、ネットワークインストールを行う前に変更しておくことができます。設定はInstallationDefaultSettings.xmlというファイルに保存されているので、これを編集します。このファイルは、各プログラムのインストールディレクトリに格納されています。このファイルに含まれる以下のようなパラメータのデフォルト値を変更します。

- PRODINSTDIR
MDAのインストールパスを指定します。
- ZIP_AND_SEND_EMAIL_ERROR_REPORT
V8.7のZip&Send機能で生成されたエラーレポート（ログファイル）をメールで送信する際の受信者を指定します。複数の受信者をカンマ "," で区切って指定することができます。
- ENABLE_ERROR_REPORTING
インストールエラー発生時に生成されたエラーレポートのメール送信の有効/無効を指定します。
- EMAIL_ERROR_REPORT_TO
インストールエラーのレポートをメールで送信する際の受信者を指定します。複数の受信者をカンマ "," で区切って指定することができます。

コマンドライン引数を使用するには

Setup.exe /?またはSetup.exe /help

ヘルプウィンドウが開き、使用できるコマンドライン引数の一覧が表示されます。コマンドライン引数についての詳細情報は、インストールパッケージのルートフォルダにあるファイル "setup.pdf" に記載されており、このファイルには、インストール実行時に発生する可能性のあるエラーの一覧（コードと説明）や、インストールのカスタマイズに関する詳しい情報なども含まれています。

サイレントインストールの場合は、同じバージョン（レビジョン）のV8.7の再インストールは行えません。また、PCにすでにインストールされているバージョンは、自動的にアンインストールされない場合があります。インストール済みバージョンをアンインストールするには、インストーラパッケージに含まれるInstallationConfigurationというファイルを、インストール済みバージョンの同名ファイルに上書きコピーします。このファイルは、デフォルトでは%ProgramFiles (x86) %\ETAS\内の以下の場所に保存されています。

GENericSetup\MDA MDA Product\8.x.x.x\config.

1.6 サポート情報をカスタマイズする

ETASのユーザーサポート情報が表示されるダイアログボックスに、固有のユーザー情報を追加することができます。

1. 追加したいサポート情報を記述したファイル %ProgramData%\ETAS\
MDA\SupportInfo\CustomerSupport.rtf.

SupportInfo フォルダが存在しない場合は、新しく作成してください。このRTFファイルは、インストール時に自動的にインストールされるようにすることができます。そのためには、MDAインストールパッケージのルートフォルダに、このRTFファイルを含む **SupportInfo** フォルダを保存しておきます。

RTFファイルの内容は、プレーンテキストのみを使用するようにしてください。Eメールアドレス（例: <mailto:support-team@my-company.com>）やウェブサイトへのリンクを含めることができます。

2. V8.7から **ヘルプ > サポート** を選択すると、ユーザーサポート情報のダイアログボックスが開き、最下部に追加したユーザー情報が表示されます。

また、**ZipAndSend** 機能によるエラーレポートの送信先も、カスタマイズしておくことができます。

1. %ProgramData%\ETAS\MDA\<version> 内の SupportAddresses.txt ファイルに含まれるEメールアドレスを編集します。ETAS日本支社のサポート窓口のアドレスは、inca.hotline.jp@etas.comです。
2. このファイルに有効なEメールアドレスが含まれない場合は、デフォルトのアドレスが使用されます。

1.7 ライセンス管理

本ソフトウェアを使用するには、有効なライセンスが必要です。ライセンスは以下のいずれかからご入手いただけます：

- － ツール管理者の方
- － ETASウェブサイトのセルフサービスポータル（下記）
www.etas.com/support/licensing
- － ETASライセンスマネージャ

ライセンスをアクティベートするには、製品のご購入時にETASから発行されたアクティベーションIDが必要です。

ETASのライセンス管理の詳細については、[ETAS License Management FAQ](#)、またはETASライセンスマネージャのヘルプを参照してください。

ETASライセンスマネージャのヘルプを開く

ETASのソフトウェアをPCにインストールすると、ETASライセンスマネージャがそのPCで利用できるようになります。

1. Windowsスタートメニューから **E > ETAS > ETAS License Manager** を選択します。
ETASライセンスマネージャが開きます。
2. ETASライセンスマネージャウィンドウをクリックして、**F1** を押します。
ETASライセンスマネージャのヘルプが開きます。

1.8 個人情報保護に関する注意事項

MDAの使用時には、個人データが処理されます。本製品の購入者は、管理者として、GDPR（General Data Protection Regulation：EUの一般データ保護規則）のArticle 4 No. 7 に従いこれらの処理の法的適合性を確保する必要があります。製造者であるETAS GmbHは、当該データの不適切な扱いに関して、いかなる場合も責任を負いません。

本製品の使用時には、個人データやそれに関連するデータを含む可能性のある測定データが処理される場合があります。この測定データには、たとえば、車両識別番号（VIN）または車両のナンバープレート、GPS、ビデオ、音声、その他の測定データが含まれます。実際に記録される具体的なデータの内容は、測定システムの設定を行う際にユーザーが決定しますが、それを行うユーザーには、適用される国内法を遵守したデータの扱いを行う責任があります。

技術的／組織的な対策

本製品は、個人データまたはそれに関連するデータを記録する際に暗号化を行いません。記録されるデータの機密保持のため、ユーザー側のITシステムに適した技術的対策または組織的対策（測定ハードウェアにおいて盗難防止やアクセス保護を行うなど）を講じてください。ログファイル内の個人データまたはそれに関連するデータは、オペレーティングシステムのツールを用いて削除することができます。

データとデータカテゴリ

ETASライセンスマネージャでユーザーベースライセンスを扱うと、特定の個人までさかのぼることができる以下のような個人データまたはそれに関連するデータが、ライセンス管理の目的で記録される可能性があります。

- － ユーザーデータ：ユーザーID
- － 通信データ：IPアドレス

ZipAndSend（障害レポート送信機能）を使用して製品の障害レポートをETASに送信する際には、添付ファイルとして送信される*.zipファイルに含まれるログファイル内に、システム上のファイルパスが含まれる場合があります。これらのファイルパスには個人データ（ユーザーIDなど）が使用されている場合があり、そのデータが送信されないようにしたい場合は、ログファイルからその部分を手動で削除する必要があります。

GPS地図ウィンドウを使用する際には、GPSデータポイントは外部のデータプロバイダに送信されず、ツール内でのみ処理され、視覚化されます。特定の個人を追跡できる以下の個人データやデータカテゴリは、視覚化の目的で使用されます。

- － 測定データ：GPSデータポイント

GPS地図ウィンドウを使用すると、個人を特定できる以下の個人データやデータカテゴリが外部の地図データプロバイダ（Omniscale GmbH）に送信され、要求された地図データを提供したり、インフラストラクチャに対する悪意ある攻撃を検出・防止したりする目的で使用されます。

- － 通信データ：IPアドレス

2 お問い合わせ先

テクニカルサポート

各国支社の営業やテクニカルサポートについての情報は、ETASウェブサイトをご覧ください。www.etas.com/hotlines



ETAS本社

ETAS GmbH

Borsigstraße 24
70469 Stuttgart
Germany

電話 : +49 711 3423-0
Fax : +49 711 3423-2106
インターネット : www.etas.com